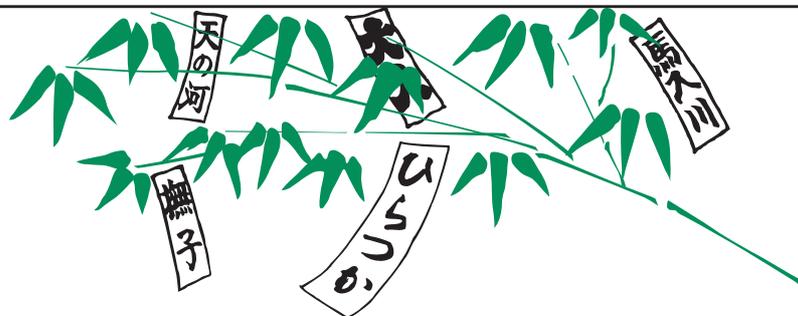




2012～2013年度 国際ロータリーテーマ  
Peace through Service  
「奉仕を通じて平和を」



# HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 小飯塚立雄 ● 副会長 鳥海衛一 ● 幹事 清水雅広 ● 会報委員長 関口幸恵 (2012～2013年度) E-mail: hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2886回 2013年3月28日 グランドホテル神奈中 週報第2886

## 本日の卓話者ご紹介

まちの音楽家・NPO法人暮らしと耐震協議会理事長  
日本棋院墨田支部長・(木谷実名人の三男)  
木谷正道様



## 卓話

### 「父・木谷実の思い出、囲碁との関わり」

まちの音楽家・NPO法人暮らしと耐震協議会理事長  
日本棋院墨田支部長  
木谷正道

#### ■ 木谷 実について

- 明治42年** 神戸市生まれ。父は理髪業。鳥居鍋次郎、久保松勝喜代、鈴木為次郎に囲碁を学ぶ。
- 昭和2年(18歳)** 大手合いで10人抜きを達成、「怪童丸」の異名を取る。
- 昭和4年夏(20歳)** 竹節美春(19歳)との出会い。山奥の一軒宿(信州地獄谷温泉)訪問。
- 昭和5年1月(21歳)** プリを持って深い雪の中を再訪「ぜひ、娘さんをいただきたい」。
- 昭和6年10月(21歳)** 東京で結婚 やがて三男五女を得る(二女は幼児の時に死亡)。
- 昭和8年3月(23歳)** 最初の内弟子・武久勢士が入門。  
夏 常識を覆す「新布石」の研究(隅の地より中央を重視)(地獄谷温泉で呉清源と)。
- 昭和9年秋(24歳)** 呉清源と木谷が大手合いで一等、二等。新布石が歴史的なブームに。
- 昭和10年秋(25歳)** 大手合いで二等。翌年1月に七段に昇段。当時、本因坊秀哉名人が九段、八段は空位、

七段が瀬越憲作、鈴木為次郎(木谷の師匠)、加藤信の三人。

**昭和11年(26歳)** 大磯坂田山の中腹に転居。10月大磯三沢橋に転居。

**昭和12年(27歳)** 平塚に転居。9月1日 東京で関東大震災に遭遇(今年が90周年)。

12月 趙南哲少年がソウルから入門し、帰国後に韓国棋院を創設。その後、趙治勲(甥)をはじめ4人の韓国出身棋士が木谷道場で育ち、深い絆ができる。

**昭和13年4月(28歳)** 本因坊秀哉名人引退碁の挑戦者決定リーグ戦で優勝。

**昭和13年6月17日** 引退碁開始。12月4日に終局(木谷の五目勝)。

川端康成が観戦記を書き、後に小説「名人」執筆。木谷は大竹七段として登場。

**昭和20年** 山中湖に疎開。7月15日 平塚空襲で家が焼ける。

**昭和26年(35歳)** 大竹英雄(昭和17生まれ)入門(18番目の弟子)。

やがて、次々に弟子が入門し、最盛期には弟子16人、30人を超す大家族になった。

子ども時代の原風景 花水川の土手での土筆取りとイナゴ取り。

#### ■ 私と囲碁との関わり

幼少時から碁を学び、やがて弟子の一人としてプロ棋士の修行をする。

「誰が本当の子どもか分からない」ごちゃごちゃの生活の中で小学校時代を過ごす。

中学一年のときに、父の前に手をつけて「碁をやめさせてください」と頼む。

中学3年で東京四谷に転居し、高校、大学、結婚するまでを東京で過ごす。

東京都庁就職時に大会に出場した以外は、碁とのかわりがない生活を送る。

2006年(58歳)頃から、再び碁の世界に関わり始める。2007年 福山市鞆の浦「全国耐震まちづくりフォーラム」で「100面打ち囲碁祭り」。

2010年 「21世紀の朝鮮通信使～囲碁で信(まこと)を通わせよう」(鞆の浦などで)。

#### ■ 今年(2013年)の取り組み

**2月** 日本棋院墨田支部を設立し、9月の首都防災ウィークの基盤を作った。

## <出席報告>

本日 3月28日	会員数 64名	対象者 58名	出席者 43(39)名	出席率 69.35%			
前々回 3月14日	会員数 64名	対象者 58名	出席者 47(41)名	出席率 73.44%	MUP 5名	計 52名	修正率 81.25%

